

ヨリ全般恩賜診療券ノ御蔭ナリト。今更一家ハ宏大無邊ナル聖恩ニ感泣致シ居ル。次第ナリ。

實施之大概況

御下賜金並國及縣ノ醫療救護費ニ依ル救療ハ左ノ二種類ニ依リ之ヲ實施セリ。

出張診療五十八ヶ所ハ日本赤十字社山口支部ニテ行方林野火管處賣興へ当安入山費子等を除く。一案ハ奉
實施ノ概況左ノ如シ。

一、委託診療

委託診療ハ普遍的ニ救療ヲ實施セシムル爲救療費ヲ各市町村ニ割當テ市町村長ハ此ノ配當額ノ限度ニ於テ救療ヲ實施スル事
ト、セリ然ルニ各市町村共概ニ昭和八年度割當額ノ年度初メニ於テ費消シ後半年ニ於テ救療ニ支障ヲ來セル事例ニ考ヘ本年
度八年度初メニ於テ前年度ノ輸ヲ踏マサル様留意シタル結果前半年度ニ於テ救療人員少ク後半年度ニ於テ救療人員ノ増加又
示セリ。

二、出張診療病院
出張診療ハ醫師ナキ部落又ハ島嶼中交通不便ニシテ平素醫療ニ恵ムレザル地方ニ對スル特殊施設トシテ實施セルモノニシテ
其ノ概況左ノ如シ。

縣直營ノ出張診療所ハ十八ヶ所トシ診療醫ハ郡醫師會長ニ委託シテ選定シ診療醫ニ對シテハ出張診療一回ニ付平均五圓五

十錢ノ手當ヲ支給シ診療ハ毎月五回以上之ヲ實施セリ。特ニノノ細々風頭等熱癆無氏矣故也。其餘金平人病者又大半再發者
2、日本赤十字社山口支部委託出張診療

日本赤十字社山口支部ニテ行フ出張診療ハ五ヶ所トシ醫師ハ縣直營ト同ジク郡醫師會長ニ委託シテ選定シ診療ハ毎月三回

以上之ヲ實施セリ然シテ受託者タル日本赤十字社山口支部ニ對シテハ委託料トシテ金壹千圓ヲ支拂ヒ同支部ニ於テハ此ノ委託料ノ外ニ支那費ヨリ金壹千參拾五圓六拾六錢ノ支出ノナ至託由長今來一式瓦子。

和歌山縣

實施之概況，即為本人所著之《鐵道工程》一書中所載之圖說。

前年度ニ引續キ實施シタル時局匡救恩賜醫療ハ一兩年ノ施行ニ依リテ趣旨大ニ普及シ且從事者モ取扱ノ要領ニ習熟シテ極メテ好調ニ運ビ醫師ハ聖旨ヲ奉戴シテ親切ニ患者ニ接シ受療者亦皇恩ノ渥ク高キニ感喜昔ク能ハザレモノアリ。其ノ成績ニ至リテ

ハ實施當初二比シ患者數ニ於テ必ズシモ多シ外シ言ヒ難ケレバモ相當重患者ノ救濟サセタルモノ不尠過去ノ成績ニ徴シテ本施

設ソ擴充恒久化ヲ希望スルコト切ナリ。

威ノ鮮人(日稼業)急性化膿性筋炎

ニテ途方ニ暮レツ、アリシヲ本醫療ニヨリ赤十字病院ニ入院切開手術ヲ受ケ全治シタルガ退院ニ際シ日本語ヲ解セザル彼ニ只感激ノ涙ヲ流スノミニシテ聖恩ノ有難キヲ感謝シ從來怠惰ナリシ彼ハ其ノ後一變シテ忠實ニ勞勤ニ從事シツ、アリ。二、又本年三十歳ノ男（メリヤス職工）妻子共三人暮シニテ辛ウジテ生活シツ、アリシガ九年五月肋膜炎ニ罹リ本人親族共ニ賚力ナク且收入ヲ途絶ヘ一家破滅ノ状態ニアリシヲ本醫療ニヨリ醫師ヲ治療ヲ受ケ全治シタリ、爾來一家ハ御仁慈ノ宏大故ルニ感激シテ報恩ノ誠心ヨリ共ニ勤勉業ニ励ミ以テ得タル給金ヨリ幾分ヲ割合國防獻金ヲナス等賞スベモ美譽ヲ残セリ。内三、右ノ如キ事例ハ數多ク列舉シ得ル處ナリ之等ハ從來殆ンド施スペキ方法ナシトシテ顧ミラレザリシニ本施設ノ實施ニヨリ收メ得タル成果ナリ本施設ハ單ニ肉體ノ痛苦ヲ救濟スルニ止マラズ因窮罹病者ノ精神ヲ救助シ淨化スル教化的效果ノ偉大ナルコトヲ立證スル活資料ト謂フベキナリ。

實施ノ概況

實施ノ概況

昭和九年度ニ於ケル恩賜醫療救護取扱患者總數ハ四千八百三十四人ニシテ其ノ治療延日數十四萬七千八百三十九日ナリ右ノ内縣ニ於テ直接行ヒタル施設ニヨル患者數四千四百三十三人ニシテ財團恩賜濟生會ヲ通シテ行ヒタル患者數ハ四百一人ナリ、其ノ施設ノ内容左記ノ如シ。

委託診療ハ縣醫師會、歯科醫師會、薬剤師會及產婆會等ト連絡協調シテ診療及助産ヲ委託スルモノニシテ市町村ニ於テ豫

要病證者名簿ヲ作製シ必要ナル患者又ハ姉妹ニ對シ救済券ヲ交付シ患者ノ自由ニ開業醫師、薬劑師及産婆ヲ擇擇シテ診療並助產ヲ受ケシムルコト、セリ。

(イ) 痘瘍患者標準
町村ノ住民ニシテ特別稅戸數割ノ免除ヲ受クル者及特別稅戸數割一戸平均額ノ三分之二以下ヲ負擔スル者ノ内ヨリ症病傷

(ロ) 救療方法
疾ニ罹リ又ハ妊娠スルモ醫療又ハ助産ヲ受クルニ付ヲ得ザル者。

各市町村ノ要救療者數、地方疲弊ノ狀況並人口等ヲ參酌シ豫メ割當豫算ヲ定メ町村ニ救療券ヲ配布シ警察署、方面委員市町村役場ヲ通シテ該當患者ニ交付セシム又入院ヲ要スルモノニ對シテハ縣ノ承認ヲ受ケシムルコト、セリ。

(八) 救療券ノ種類
入院治療券
(治療日數十五日ヲ一期トス)

普通治療券（治療日數三十日又一期トス）

短期治療券 (治療日數十日ヲ一期トス)

處方箋（投薬日數三十日ヲ一期トス）
助産券（產前ヨリ產後迄）

出張診療ハ醫師ナキ村並醫師アルモ之ヲ利用スルニ甚シク不便ニシテ恰モ無キト同様ト認メラル、时ニ對シ都内ノ醫師ヲ由

張セシメ一定ノ日時ヲ定メ診療ニ從事セシムルモノニシテ昭和九年三月ニ於ケル出張診療所ノ數ハ左記八ヶ所ナリ。

縣醫師會ノ推薦セル醫師ヲ出張診療醫ニ囑託シ毎月六回（交通不便ノ地ニヶ所六毎月三回）出張セシテ同村及其地方勞教療患者ヲ診療ノ専余暇ノ利用ノ一役十日一月半至多二月半之類也

(口) 出張診療所設置町村名

同郡中枝村 美馬郡岩倉村 同郡西祖谷山村

卷之三

本年以醫務委託施設ニ關シテ各種々考慮ヲ重メタル結果御下賜金並三國庫金共全額_{恩賜財團}濟生會救療費ニ繰入委託診療及出張ニ依リ實績ヲ擧グルコトハシ委託診療ニ在ソテハ昨年ニ引續キ救療券ニ依リ既設ノ醫療機關タル醫師、歯科醫師、藥劑師ニ委託シテ一層救療ノ普及徹底ヲ期シタツ。即チ委託診療費ノ配付ニ付テ、細心ノ注意ヲ拂ヒ縣至百七十四市町村_於於次ル特別稅戶數割ノ免除ヲ受クルモノ並ニ同最低賦課ヲ受クルモノ及生計困難ノ狀態ニ在ルモノニシテ特ニ事情已ムヲ得スト認メラレタルモノ、戸數ニ夫々按分ノ上各警察署及方面委員人設備アリ四十九ヶ市町村ニ配當_ノ配當_ノ受クタル警察署及關

一、尙道般ノ暴風水害等ノ災害ニ對スル匡救施設トシテ追加配當相成タル醫療救護費ニ付テハ慎重ニ考慮シタル結果各警察署及各關係市町村ヲ督勵シテ要救療患者ヲシテ漏ナク救療セシムル様注意シタルノ外衛生課員ヲ數部ニ分チ救療ノ實施狀況調査ト共ニ指導並打合ヲ行ハシメル爲各警察署及關係各市町村ニ派遣シタリ。

(歎話、佳話、美談等) 難サニ感泣シ満腔ノ敬意ヲ以テ治療ニ終始シ居リタルガ如上ノ關係上醫療ヲ受ケ藥石ノ效アリテ恢復スルニ至リタルモノニ在リテハ鴻大ナル聖旨ニ感奮興起致々トシテ其ノ業務ニ精勵スルモノ等枚舉ニ遑ナキ程ニシテ從ツテ美談、佳話等ノ如キモノニ於テモ隨所ニ見聞サル、所ナルガニ、三ノ例ヲ舉グレバ左ノ如シ。

（記入へキ事項）
詰、美談等）
テヨリ病床ニ呻吟セ
敬意ヲ以テ治療ニ終
ニ感奮興起致々トシ
ル、所ナルガニ、三

香川郡佛生山町

右者昭和九年九月二十五日頃肺炎ニテ因却シ居リタルヲ救護シ次ル處同年十月三十日頃至治シタガ同人ア從來素行善良ナラズカフエ一等ニ出入ヲナシ家族等困難シ居リタル次第ナルモ醫療救護ノ恩恵ヲ受ケテヨリ本人ハ全ク生レ變リタルガ如ク性格一變シ職業タル傘配達ニ一生懸命ナルト共ニ母ト一緒ニ毎朝皇居ヲ遙拜シ居ツテ近隣ノ模範トナシリ。○治村○

右者ノ家族ハ十一名ノ多人數ナルモ女子供ニシテ只戸主○次長男○○郎之三人ガ鑄物職工ニテ勤キ居レルニ依リ四十四圓位ノ月收アリ全ク糊口ヲ凌ギ居ル位ナルニ昭和十年一月十八日孫○生後五ヶ月分乳兒肺炎ニ罹患シタリ素ヨリ醫療ヲ受クルノ資ナク困惑シ居レルヲ所轄警察署ニ於テ救療直チニ日本赤十字社香川支部病院ニ入院ノ上加療セシメタル結果病勢變化恢復困難ト認メラレ居リタルモノガ全快シタルモノニシテ聖恩ノ鴻大ナルニ感泣シ居レルガ尙所轄署宛左記禮狀ヲ寄せ其ノ片鱗ヲ伺ヒ得ラル、次第ナリ。

記
邦啓 踰んで御禮申上げます、幾らか新春らしくなり誠に凌ぎ良くなりました、私事濟生會の患者であります。
上御一人　　を初め御役所皆々様の御蔭にて私方家内一同丈夫になり働き得る様になりましたのでどんなに御禮申してよい
やら存じません次第です。朝夕必ず東へ向つて御禮申上げて居ります貧しい上に身體が弱かつたらどんなにつらいかわかりま
せんが身體が御蔭で丈夫になりまして一同大變喜んで居ります御役所へ一度卸疊状出さなければならぬと思ひつゝそくな

記

いたしか何卒惡しからず御願します御禮に參らなければならぬ所亂筆の手紙にて失禮致します。此處まことに思ひ切々と書き立て
濟生會患者

卷之三

詩品卷之二

トモ卒先シテ先納シ一日モ遲延セザル様各自注意スル傍ラ業務ニ精勵セリ。

前二ヶ年來主旨徹底

殊ニ旱害、風水害ニ伴フ臨時配當金ニ依リ之等疲弊農山漁村民中ノ要救療者ノ大部分ヲ救療シ得タルハ最モ欣快トスル所ナリ。本年度ニ於ケル出張診療實施村ハ三十一ヶ村ヲ選定シ各村毎月二回乃至三回隣接町村醫師ヲ出張セシメタリ。而シテ之ニ要シタル經費ハ診療所費及ヒ醫師看護婦ノ旅費ノミデ六千百八十圓ヲ要スル。出張診療ニ依ル救療患者ハ比較的僅少ナルモ之等出張診療實施ニ依リ當該村民ヲシテ醫療ノ恩恵ニ浴セシメ多大ノ貢献ヲ爲シタルモツト認メラル。

卷之三

良好ニ至リ遂ニ開眼シタルヲ以テ同年十一月全ク救療ヲ辭シタルガ自他共ニ諦メテ居タルコト、テ本人及其ノ近親ヲ喜ビ非常ナルモノアリテ只々感謝シ恩恵ノ難有サニ咽ビ居レリト云フ。

100

何ノ心残リハアリマセム

ノ既ニ至リテハ全然思ヒ及バザリシ處本年一月以來二次月ニ亘レ療養受ケツ正アツタル所餘ソコ嬉シサシ前家族シ假心性ノ儘死ストモ何ノ心残リハアリマセムト稱シ幸福感ニ打タレ倍々家業ニ勉勵シツ、アルガ幸ニ本人ノ経過モ良好ナリ。

六、委託

ヲ發行シ市町村長ニ於テ

アル社會事業團體（高知慈善協會基督教婦人矯風會高知支部等日本赤十字社高知支部病院）に委託診療を之は本年度ハ全部ヲ財團 池田、高知市、出島、佐藤、二井、大野、一號、要速熟達ニ付シテ、繩下谷開業醫（山縣綱好川井三五郎）ヲ以テ災害後ニ於テ特ニ罹災地の衛生狀況ニ注意シ名ルヲ以テ災害後ニ於テ惡疫ノ流行スルコトハ尤も相

卷之三

實之施設，則概詳之。雖諸之各各別業，區三之，一以

本救療實施以來無告ノ窮民ヲシテ治之御聖恩ニ浴セシムベク（恩賜）濟生會ト共ニ矣々規定ニ基キ委託診療ニ巡回診療ニ又無醫村ニ對シテハ二十五名ノ出張診療醫ヲ囑託シ毎月三回乃至六回出張診療ニ從事セシメ其ノ他診療週間ヲ催シ「トラホーム」寄生虫ノ驅除等ノ診療ヲ爲シタルモノ其ノ數實ニ七八九三人延員貞二五四、七八八人及ベリ尙特ニ（恩賜）濟生會ヲ通ジテノ事業トシテ無醫村中最モ醫療ニ不便ナル五箇村ヲ選ビ補助金各三百圓ヲ交付シ該村醫ヲ設置能シメ醫療救護ヲ徹底フ期シ後期之方結果トシテハ衆庶等シク御聖恩ヲ厚蒙ニ感激シ各々生業ニ勵ミツ、アリ。セシムベク是ガ聖恩ヲ達於當事ナキニ至ル也

卷之三

一、本縣ニ於ケル恩賜特別醫療ハ御下賜金並國庫配當金（内六千圓ハ財團濟生會救療費へ配當）ヲ基トシ別ニ七八八年度同様
恩賜 財團 濟生會及赤十字社佐賀支部ヨリ救療費ヲ支出セシメ三團體協同ニテ醫療救護ヲ行ヒ之ニ要セシ事務費ハ總々該縣費ヲ以
テ支出セリ。醫療ノ種類ハ委託診療ト出張診療ノ二法ヲ採リ一般ノ要救療者ニ對シテハ縣下各開業醫（他縣隣接町村ニ在リテ
ハ其ノ關係他縣開業醫又ハ病院）迄於テ委託診療ヲ施セリ。特種ノ關係ニ在ル醫療不便地（開業醫ナキ農漁山村並ニ開業醫リ所在ヨリ約三里以上之遠距離ニ在リテ少多數少戸口ヲ有ス
ル部落及島嶼）ノ醫療出張所ニ實施中ナシシガ本年度ニ至リ二所ヲ增設シ十九ヶ所ト爲シ嘱託醫ヲシテ少ナシト達毎月三
回乃至五回ノ出張診療ヲ爲サシメ醫療ヲ普及ニ努メタリ。二、昨夏本縣下ニ於ケル旱害ハ頗ル甚大ニシテ生活因難者續出シ罹災民ノ醫療ノ途ハ忽チ杜絕サレ爲ニ夫レ等ノ人々ニ對スル
國庫配當金三、二二〇圓ヲ以テ恩賜特別醫療規程ヲ準用シ救療セリ。
熊本縣

卷之二

卷之三

卷之三

ニ依リ神例ヲ加給テ神ツ加治神福ヲ爲ス等色々ト寺ヲ盡シタルモ其ヲ沙門ノ出仕ヲ得テ眼科専門僧ツ診療ヲ受ケタるニ漏眼ト診定セラレ全家族相連レテ加療スルコトハナレ。然ルニ之方治療費ニ窮シ所有畠全部及使役牛ヲ賣却サ上之品就當スルモ尙快癒セズ悲歎ニ暮レ居タルヲ同町長之ヲ聞キ込ミ直チニ方面委員ト諮詢リ恩賜治療券ヲ交付シ治療ヲ續クルコトハセリ。又加療中ナルニ患者自身ハ云フニ及ハズ○川○吉モ此ノ宏大ナル皇恩ニ感泣シ共ニ毎朝東方ヲ拜シ感謝ノ治療ヲ受ケツツニアリ。

女（六歳）ノ八人ノ家族ニシテ第二種カト下階級ニ屬シ小作農ヲ營ミ漸ク口糊ヲ凌ギツ、アリタルニ昭和九年六月ニ至リ妻○キ○ノ健康勝レズ家事ヲ執ルコト不能九月ニ至リ病勢愈募リ醫師ノ診斷ヲ受ケタルニ子宮筋腫兼卵巣囊腫ニテ大手術ヲ施サハシバ生命ニ係ル重症ナル疾患トノ診定ヲ受ケタルモ治療少資金無ク六火ノ子供ヲ残シ死ヲ待ツ外ナク一家悲歎ニ暮レタルヲ以テ方面委員ノ同情ト斡旋ニ依リ恩賜醫療救護治療券ヲ交付シ受ケ斯界ノ權威者レシテ地方ニ知ラレタル隣村鹿本郡米野岳村○田醫師ノ加療ヲ受クルコト、ナレリ、同醫師モ本事業ノ性質ニ鑑ミ全ク私利ヲ離レ犠牲的神精神ヲ以テ治療ノ快諾ヲ爲スコト、ナリ九月十日大手術ヲ行ヒ約一ヶ月療養ノ甲斐アリテ全快シ一家蘇生ノ悅ビヲ得タリ是レ偏ニ恩賜ノ醫療ニ因ルモノト家族及親戚ハ勿論近隣ノ者モ鴻恩ノ厚キニ感泣シ御仁慈ニ酬コント只管家業ニ勵ミツ、アリ、尙恩賜醫療救護ノ精神ヲ充分理解セル○田醫師ニ對シ満腔ノ敬意ヲ表シ居レリ。一此此四正三

前文に花園町○一〇○○年春林合林ノ生レハナガ姫時海山シ旅館ノ女中奉行ナシ居ル時朝鮮生レノ○○ト結婚シ
拾數年前ニ花園町中尾丸ニ一戸ヲ構ヘテ○ガボロ買ヲナシテ得タル僅カナル利益ヲ以テ其ノ日ノ糧トシテ細々ナガラ生計ヲ
營ス居ル内夫婦沖ニ○海○江子○ヨ子○カ子_サノ家族_サ順次増シ貧乏人ノ子澤山デ扶養ノ重荷モ愈々加ハリ夫婦心ヲ合セテ精
出シ我ガ子ノ成長行末ヲ樂シミツ、層一層ノ努力ヲ誓ヒ勤キ勵ミ居リシガ昭和八年十一月突如トシテコノ一家ニ不幸ハ見舞
ヒ親柱ト賴ミ一家收入ノ唯一ノ源泉ナル○○ハ數年前ノ寄附強要_サ件_サ禍サレ不幸ニ陥リ取残サレタル_サハ子汝謬沙シテ

勧タコトモ思フニ任セズ思案ニ幕レ糸行商ヲ行ヒセマテモ米飯ノ代ニト終日市内ヲ巡ハレルモ收入思ハシカラズ其ノ間壬女
ガ代ル々々病氣ニ罹リ困窮ノドン底ニ陷レル事が擔當區域ヲ巡ル十時方面委員ノ聞込ム所トナリ、コノ一家ニ對シ何吳ト援
助ノ途ヲ講ズル事トナリ早速恩賜治療券ヲ交付シ附近ノ川原醫院へ子供ヲ診察セシメ手當ヲ加ヘル事ニセリ、恩賜ノ治療券
ナカリセバ醫療ノ途方ナキノハ一家枕ヲ並ベテ次々ニ病ノ爲ニ生命ヲ奪ハレテ絶望ノ深淵ニ突落サレタル事ハ想像ニ難カラ
ズ、○○ハ此ノ話ヲ聞キ皇恩ノ厚キニ感泣致シ東方遙拜謹ミテ皇運無窮ヲ祈リ此ノ宏大ナル皇恩ニ酬ヒ奉ラント眞面目ニ
古物商ヲ營ミ一家ハ更生ヘノ途ヲタドリツ、アリ。

某ノ他特記スベキ事項

平定回疆方略

مکالمہ

卷之三

昭和五年以來標記ノ地ニ醫ヲ開業シ性來清廉潔白等

シ隣人救助ニ盡碎シ殊ニ治療券所持患者ニ對シニ

九年度恩賜醫療費ハ其ノ請求ヲ固辭シタル如等行爲

卷之三

寶川集卷之二

寶島旅人之狀。況用之于海防，實為濟世良藥。

八五

(佛考) 一、鹿児島市ニ該當者アルハ隣接三ヶ村ヲ合併セシニヨル
二、早魃被害ノ救療ハ十年一月ヨリ施行ス

月別二名簿登載人員ヲ觀ルニ四月一三、九九一戸（五二、一〇二戸）ヨリ漸次增加シ昭和十年一月ニハ旱魃被害者タルニ三、八九五戸（一一六、一二八人）ヲ加ヘ年度末ニハ實ニ合計二五、〇一九戸（一二三、八二四人）ノ增加トナリ。

一、取扱患者數

昭和九年取扱患者數ハ三五、二七六人（此ノ治療延日數七四五、七五六日）ニシテ患者一名ノ平均治療日數ハ二二三、一日ヲ示セリ、此ノ中一月以降三ヶ月間ニ取扱ヘル旱魃被害者ノ患者數ハ一九、二〇二人（此レ治療延日數三五六、一七二日）ニシテ一人平均一八、五日ノ治療日數ヲ示セリ。

八
都市別取扱患者數調

六

二、委託診療

委託診療ハ本事業ノ主軸ニシテ縣下開業醫師及歯科醫師ニ診療ヲ委託シ又薬剤師ニ處方箋ニ依ル調剤ヲ委嘱ス。該當者ハ豫メ恩賜診療券及治療證票ヲ配布シ罹病ノ都度自由ニ醫療ヲ受ケシムル手續ナリ。

委託診療取扱郡市別患者數調

四、巡回診療

卷之三

出張診療ハ委託診療ニ依リ難キ地方ニ恩賜救療出張診療所ヲ設置シ、最寄醫師ニ出張診療ヲ委嘱(月手當ハ平均貳拾圓トス)スルモノニシテ前年度設置ノモノヲ其ノ儘存續セシト雖モ本縣ハ地勢上出張診療所ノ設置ヲ要スベキ地區多ク前年度ニ比較スルニ四ヶ所ヲ増設セリ(出張診療所設置標準、戸數一〇〇、最寄醫師ヲ距ツル四「キロメートル」ノ地區)

巡回診療ハ前記ノ診療方法ニ依リ難キ地域ニ對シ縣衛生技術員又ハ縣立病院職員等ヲシテ診療班ヲ組織シ（醫師、薬剤師、事務員各一名ヲ以テ一班トス）平均月一回宛巡回セシム、區域ハ前年度ヨツ施行シ居リシ大島郡十島村同鎮西村中ノ三離島及肝屬郡佐多村二部落ニシテ此ノ戸數合計一、六〇〇餘戸（七、〇〇〇餘人）ナリ、尙鎮西村中ノ巡回診療區域ハ昭和九年八月所轄警察署ニ衛生技術員ヲ配置シ診療ニ從事セシメタリ。昭和九年度巡回診療施行回數ハ三十回（延診療班三十班）及ベリ。

六、醫療救護費	合計	藥劑師	一九
昭和九年度醫療救護費歲入歲出豫算左ノ如シ。	三五、二七六	三五、二七六	一九
	七四五、七五六	七四五、七五六	四九二
	九二、二八七・二六	九二、二八七・二六	五〇・五四
	一一一	一一一	二五・九
	一一一	一一一	二一・一

時和力全。庶醫務求諸實，前人前出，預算力如妙。

診療別平均治療費左ノ如シ。

卷之三

九
三

診 別	支 出	高 患 者 數	治 療 日 數	患 者 一 人 付 給 費	患 者 一 人 一 日 付 給 費
委託及出張診療	八五、四五五・一六	三二、八五四	七二、六、六五八	二・二〇一	一〇〇
巡回診療	三、五二四・八九	二、四二二	一九、〇九八	一・四五五	一八四
平均	患者一日一平均	患者一日一平均	患者一日一平均	患者一日一平均	患者一日一平均

其ノ他特記スベキ事項

本事業施行セテル事々其ノ施設ノ適切か何レモ聖代在福音主シテ感謝感激大甚矣勿論保健上及思想上ニ及ぼ毛影響頗ル大ナリ。縣民ガ如何ニ感謝セルカノ如實ノ聲トシテ所謂挿話佳話等ノ若干ヲ左ニ摘記ズ。

目次

第一章	高	二、武八二	一、武八二
第一話	乘船賃金ノ免除	四六、武十二	二・二四六
第二話	悔懲	二、二四六	二・二四六
第三話	參拜	武三、九〇〇	一・九〇〇
第二章	遣言	武三、九〇〇	一・九〇〇
第一話	遺言	武三、九〇〇	一・九〇〇
第二話	悔懲	武三、九〇〇	一・九〇〇
第三話	開眼	武三、九〇〇	一・九〇〇
第四話	蘇生	二四五、二五六	二・二五五
第五話	视力	四武二	正四

第六話 親子恩トシテ子恩ニ懷テ中華ナキ玉皇恩ニ懷テ天自食衣張夫野ハ萬食入一文アリテ子願ニハヤヒテ遺言シ
第七話 恩賜病院ノ界病ニ及ヒ自口ニシテ福音傳シ至ハ玉皇恩ニ御難キニ遇病ニシテ子恩ニ醫藥喫ミテ四十半ニ
第八話 第三章
第一話 医師（當三十半）ハ細町八半正旦見事ニ御講説セ思テ之御食團セモ御宿然覺ニテテ自口義
第一話 乘船賃金ノ免除

古仁屋警察署長報告

恩賜診療券受有者ニ對シ船貨免除ヲ取扱フ爲シ事業ノ徹底二期セシ旨左記ヲ報告アリ候。ニマテ實行シテノ事無く
管内ニ於ケル恩賜診療券受有者ハ相當數ニ達シ居ル事之等ニシテ醫療ヲ受取ム事無ル事、洛島嶼ヨリ醫師居住地迄ノ船貨ヲ支
辨ヲ必要トル關係上充分ニ醫療ニ接シ得ザル實情ニアリテ洵ニ遺憾トル所ナリシガ今般管内發動船組合ニ折衝ノ結果診療
券受有者ニシテ醫療ヲ受クル爲メ乗船スル場合ニ限り乗船貨ヲ全免スルコト、相成候ニ就テハ別紙ノ通り管内各村長ヲ通シ此
ノ旨示達シ以テ恩賜診療ノ擴充徹底ヲ期スルコトニ致候。

別紙ノ如き紙張ハ、總主導人會社銀主小哥姓姓ノ印押セテ恩賜ノ意願セテ又ハ、筆十ノ字ニ墨ノ筆セテ各々金
額半額品管内各村長（殿）ノ印押ヘ風雨露雷落イテ恩賜診療券交付セベリセテ皆ナハ同人ハ玉皇恩ニ
恩賜診療ノ徹底ニ關シテハ平素御留意申コトハ信ズル是從來ノ實情ニ徵スルニ診療券受有者ニシテ醫療ヲ受ケムトスルモ開
業醫師所在地ヘノ往復船貨ノ支出困難ナル事情ニヨリ折角診療券ヲ有シナガラ遂ニ醫療ヲ受ケ得ズ徒ニ病床ニ呻吟シツ、有之
状態ニシテ斯くてハ恩賜診療ノ聖旨ニ副ハザルシテナラズ洵ニ懲憤ニ耐ヘザル以テ今回當署管内發動船組合員ニ對シ
右事情ヲ訴ヘテ協商ノ結果爾今恩賜診療券受有者ニシテ「診療ノ爲シ醫師致許往復時場合ニ限リ」船貨ヲ免除（全免）シス

ルコトニ相成候ニ付テハ至急此ノ旨各診療券受有者ニ示達相成一層恩賜診療ノ徹底ヲ期セラル様致度此段及通知候也。追而乗船ノ場合ハ船員ニ對シ診療券ヲ提示スル様併セテ御示達相成度申添候。

第二話 慰問

薩摩郡高城村○○シ○エ（當時十七歳）ノ家庭ハ夙ニ該當者トシテ恩賜診療券ヲ交付シアリタル者ナルガ同人ハ皇恩ノ厚キニ感謝シ祖母ヲ助ケ良ク仕ヘ居ルヲ、城上婦人會及城上小學校長ノ知ル所トナリ聖恩ノ優渥ナル又ソノ孝ナルニ默シ難ク各々金壹封ヲ贈與シテ「シ○エ」ヲ慰問セリ。

第二章

卷一百一十五

古詩集解卷之三

伊佐郡羽月村字大島十五番戸○見○義（當三十二年）ハ昭和八年五月頃ヨリ肺結核ヲ患ヒシモ貧困ナル爲治療費ニ窮シ自己及家族ノ衣類ヲ入質シ其ノ僅少ノ費用ヲ以テ治療ヲ繼續シ全ク死ヲ待ツノ外ナキ狀況ニ在リシニ方面委員ノ知ル處トナリテ恩賜診療券ヲ交付セラレ治療ヲ續行シ得ルニ及ビ自己ハ勿論家族ニ至ル迄皇恩ノ有難キニ感涙シタルモ遂ニ醫藥効ヲ奏セズ十年二月死前ニ家族ニ對シ「此ノ儘死スルハ皇恩ニ對シ申譯ナキモ皇恩ニ對シテ自分が死去後ハ萬分ノ一タリトモ酬ユベク」遺言シ

卷之三

ヲ語リツ、死亡セ

可
長
報

肝屬郡内之浦町南方一、六九九番地○市長男○本〇二（當十七年）ハ九年十月頃ヨリ身體衰弱シ疾病ヲ自覺シツ、アリシモ家計因窮ノ爲メ一日ニテモ勞勤ヲ怠ルヲ許サズ無理ニ漁撈ニ從事シ居ル中日ニ増シ苦痛ヲ覺ヘ遂ニハ起臥ノ自由ナヘ失フニ至リ兩親ニ訴ヘタルニ父ハ豫テ恩賜診療券拜受ノ恩惠ニ浴シ居ルヲ思出シ町立診療院ノ診療ヲ受次タ必勝敗血膜毒症カ少慰判明セリ。

當時ハ既ニ病症險惡ニシテ殆ド絶望ノ状態ニ陥リ、治療効果ヲ顯ハサズ只昏睡狀持続シテハ次第毎延二回メ輸血ヲ行ス及ビ症狀ハ好轉シテ確實ニ救命スルヲ得、二ヶ月餘ニシテ退院セリ患者ノ父母ハ交々聖恩ノ廣大ナルニ感泣シ「私共之生活狀態デハ如何ニ○ニガ重病ヲシテモ養生ドコロカ醫師ニ手ヲ握ツテ貰フコトモ出來ナイノデス、○ニガ入院シテ後私共ガ用事ガアツカ道ヲ歩キマシテ、人様ガ○ニ死シダカノ間ナダガト悔ヲ言シテ吳レタ人モアツタ程デ生命ヲ取止メタノハ皆有難イ皇恩ノ御恩ミニ依ルノデアツテ、私共親子三人ハ今後毎朝皇居ノ方に向シテ遙拜ヲ致シテ居心タメ、又御真影ヲ懸々知人鬼ソ讓ツテ頂キマシテ、朝夕拜禮ヲ致シテ居リアス。」

直接ニ其ノ様ナ御皇恩ニ浴シテ非常ニ有難イモノアフルコト外ヲ悉々其感シマシタニ歎感泣之シ語聴取。來報來音又音々金葉中

第三話ハ、開大普照の眼、金葉又音々、御恩半生半死十載御哭然面蒼白、民效文太郎不善、熊毛郡西之表町宇西之表番地不詳農○越○三（當三十五歳）ハ約十年前右眼ヲ馬ニ蹴ラルテ失明、左眼亦約三年前白内障ニテ全ク盲目トナレ、ツ自家族、本人ノ外八人田畠多少アルヲ以テ衣食法少不自由ナキモ娘（六歳）手ヲ引カレテ農耕ニ從事スル狀態ニシテ醫療ニ接スルニハ充分ナラズ、斯之終ル中昭和九年夏期シ旱魃ニ遭遇シ作物ニ多大ノ損害ヲ受ケタルモ本年一月ヨリ實施ナラレタル旱魃被害ニ對スル恩賜診療券ヲ交付サセタ際以財産タク感激シ、鹿児島市

内ノ眼科醫院ニ入院治療ヲ受ケタル結果二週間後左眼全失明。三年振リ光明ヲ得タリ依テ縣廳に出頭シ娘等手ヲ引取ル事。始良郡東村山村宇重久一九六番地○助ノ妻○下〇テ(當三十七年)ハ昭和十年一月二十九日突然顔面蒼白トナリテ大事不省ニ陥リタルモ極メテ貧困ニシテ醫療ヲ受クルム勿論質薬スラ求メ難キ。生計ニアリ。親族等相集シ該醫師ノ來診ヲ乞フベク金策中豫テ恩賜診療券ヲ交付セラレ居ルヲ思ヒ浮べ直ニ醫師ノ來診ヲ求メタルニ胎盤早期剝離兼異状早産ニシテ大出血ヲ來シタル結果ナルコト判明シ應急措置ノ末遂ニ蘇生シ胎兒ヲ分娩(死產)シ幸ニ生命ヲ取正シ漸次全快ニ向ヒツ職故以テ洞人以一家が勿論親族及部民ニ至ル迄深ク皇恩ノ有難ガラ感謝シ居レツ。此等を言々莫ハ人子アリ。身命を奪出シテ其ノ父母へ皆督責ト皇恩ノ御前第五話。視力回復。所轄警察署長報告。此恩詔父兄の恩ヘ還大由事無事立。其母病ヘ患難甚日懶郡阿多村○藏妻○立〇ツ(當三十八年)ハ數年前始め眼病ヲ患ヒ居タル。治療ヲ受シ得ズ。其後儘放置スルが已ム得ザリシ處漸次悪化シ近時殆ド失明ノ状態ニアリシモ昭和十年一月恩賜救療事業ノ擴張ニ際シ該當者トシテ診療券ヲ交付サレタルニ依リ専門醫師ニ治療ヲ受ケ視力明瞭トナリツ。アリテ本人ハ勿論家族に於テ更生之感アリ其ソ恩恵以有難シ。喜ビ感泣居レリ。

第六話 親子共トシテ子役。本邦第一當十才。既往史。食管炎。腫脹。癰瘍。瘻瘍。口唇炎。口瘻。口瘻。所轄警察署長報告。告。此等を言々莫ハ人子アリ。身命を奪出シテ其ノ父母へ皆督責ト。内ノ眼科醫院ニ入院治療ヲ受ケタル結果二週間後左眼全失明。三年振リ光明ヲ得タリ依テ縣廳に出頭シ娘等手ヲ引取ル事。始良郡福山町○○紋○郎(當三十五年)ハ梅毒ノ爲メ前額部及脛骨腐蝕シ歩行ハ勿論全身不隨ノ状態ニアリシモ、生計上醫療ヲ受クルヲ許サズ放置セシヲ以テ症狀益々増進シツ。アリシ處恩賜診療券ヲ交付セラレ醫師ノ治療ヲ受ケツ。アリシガ最近ニ

第一話 醫

至リ殆ド快方ニ趣キ時々ハ、日稼等ニ從事シ收入ヲ得ラル、狀態ト大ル又同人ノ實母①②ヒ少（當六十二年）モ微毒ニ反正
腿部腐骨シ步行不能ノ有様ナリシガ同様診療券ニ依リ醫師ノ治療ヲ受ケタルニ最初之息子紋○郎ニ背負ハレ漸ク診療所迄趣ク
有様ナリシガ最近經過極メテ良好ニシテ步行モ自由ニ出來ル狀態トナリ同人等一家人ノ悅ビハ勿論部落民一同ニ有難キ實例ニ深
ク皇恩ヲ感謝シ居レリ。トシテ、諸君共一聲ノ申告、財ヲ供へ奉り候事也。

第七話 鼻病 困難病二人其溝岸ニ詣セ醫然へ遂ニヘ陳張シヒテ此兩恩顯御恩典へ恩典ニ付シ越想セ

所轄警察署長報告

日置郡阿多村○次○妻○谷○ヨ（當四十二年）ハ約五年前ヨリ鼻病ヲ患ヒ居タルモ亡父榮藏ガ事業ニ失敗シ資産ヲ失ヒ貧困ナル生計ヲ營ミ居ル爲メ病勢昂進シ一ヶ年前位ヨリ全ノ鼻外役又爲ガズ不具同様ニテ吾身ノ不遇ヲ悲觀シ居終ニ活恩賜救療ノ恵ニ浴スルニ至リ専門醫院ニ入院シ手術ヲ受ケタル結果目下全治シ本人ハ勿論家族ハ恩恵ノ有難サニ感泣シ殊ニ本人ハ其ノ後毎朝皇居ニ向ヒ遙拜シテ其ノ恩恵ヲ忘ル、三トカジト言フ。

第三章 診療の相手、胃病等ニ就く者、五福浦セテ鑑識セテ其ノ貧困セテ御恩賜救療ヲ受領シテ其誰ハ又苦悶セテ其誰ハ又

第一話 醫 師

九
九

救護ニ開スル美談（市町村ヨリ報告セシモ勿其儀ハ揭グ）當來ヨコシト同様無株ニテ當來ミ誠ミドヘセリ。

一、二十二歳八女一人ノ手ヲ弟妹三人ヲ養育セルニ突如病魔ニ襲致シ難家ハ困窮スドジ處ニ落人情部落民人情ニ依リ漸ク弟妹ノ生活ニ支へ得タルモ病氣治療ノ資ナク益々重體ニ陥ル折恩賜醫療救護ノ恩典ヲ受ケ直ニ入院加療ホトキ至快ヘ皇恩

ノ人有難サニ感謝シ居ル狀態ナリ。實業等ニ黒田ミ田代ミ主婦ミテ産婦量等本領此ニ種族之種族之類也醫療又營業者有難

山縣山崎山崎○（當六十年）ハ同林八百木正之子正○音祖○（當一五六五年）伊文田崇國・野屋・營業林又營業者

一、毒蛇ニ咬マレタルモ注射藥ノ缺乏ノ折幸ニシテ巡回診療班ハ巡回中診療ヲ受ケシハ爲メ一命ヲ取止メタ火口血ヲ來シタル結果

一、昭和九年四月下地村○仲○子ハ胃痙攣ヲ起シタルモ醫師ナキ離島ニシテ且ツ貧困ナル爲メ醫療ヲ受クルコト能ハズ苦悶シ

居ル折柄巡回診療班來島シ早速往診ニ應ジ急救措置ヲ施シタルヲ以テ島民一同聖恩ノ有難サニ深ク感激シ居リ。

一、小学野國知○カ○（當年五七）及砂邊○嶺○郎ハ當十四年六眼疾ヲ患ニ失明ニ至ラムトテ死ノ恐賜醫療救護治療券ヲ依リ治

療ヲ受ケ全治ス。谷○（當四十一年）ハ母直平前妻島謙又患ニ目疾又父榮藏實業ニ夫姓喜蔵夫姓サ食困シ

一、二人家族ニシテ（老夫婦）同時ニ二人共病氣ニ罹リ醫療ノ途ナク病死セントスル折柄恩賜醫療救護ノ恩典ニ依リ救助サレ

矣ハ健康ヲ回復シ目下妻ノ治療及一家ノ生活ノタメ働キ居ル者アリ。

自足ヲナシ居ル現狀ニシテ皇恩ノ有難サニ感激シ居ル次第ナリ。

同右村

一、五年前ニ夫ヲ失ヒ而モ其ノ夫ノ生存中ノ負債ノタメ財產ハ公賣ニ附サレ鑑一文ヲ残サズ幼兒五名ヲ抱ヘ途方ニ暮レ居ル未亡人アリ然モ之又精神擾亂ノタメ重病ニ罹リアハヤ一家全滅セントスル折柄恩賜醫療救護ノ恩典ニ浴シ段々ト元氣回復シ目

今ニ於テハ一家明ルキ生活ヲナシツ、アル現狀ナリ。

一、病弱ナル母親一人ノ手ニヨツテ就學シ居ル學齡兒童アリシニ母親ノ病氣日々ニ重クナリ遂ニ母親ノタメ缺席ヤムナキニ至レリ其ノ部落ハ出席歩合極メテ低ク一般兒童悲憤シ居ル時ナリタルモ此ノ者モ又恩賜醫療ノ恩典ニ浴シタルタメ子供

モ元通リ就學シ目今ニ於テハ其ノ部落ハ出席歩合モ上位ヲ示シ居ル次第ナリ。

勝垣連村

一、石垣町字大川○田○美ハ昭和五年ヨリ眼病ヲ煩ヒ苦シキ經濟ヨリ藥價ヲ割キテ約一年間餘治療シ七分通り快癒ニ趣キツ、アリタルモ其豐ナラザル經濟ハ遂ニ治療ヲ中止スルノ止ムナキニ至リ爲ニ其ノ後病勢更ニ募リテ失明ヲ待ツノ悲境ニ陥リ一

家暗淡ノ中ニ一ヶ月餘ヲ過シタル時啓モ恩賜醫療ノ途開カシタルニ依リ方面委員○良○勝ニ窮状ヲ訴ヘ早速恩賜醫療ノ恩典ニ浴シ二ヶ月餘ニシテ全ク眼病ヲ治シ元氣回復シ從前ニ勝リ家業ニ精勵シ恩賜醫療ノ有難サニ感激シツアリハ

一、貧困ナル眼病者ニシテ海外雄飛ノ意圖ヲ有セルモ醫療ノ資送ナガ仕方州外断念甚以折柄恩賜醫療救護ノ恩典ヲ受ケ村委託

醫師ノ熱心ナル治療ヲ受ケ持病ノ「トラホトム」モ全治シ年來計畫計水伯國家族移民ノ於政府公渡航費補助ヲ受クノ目的地伯國ヘ渡航シタリ。

其ノ他ノ府縣ニ於ケル本事業實施情況ハ概々前年度ト同様ナリ。ニ付テ而表員○身○體ニ深井縣吏思典之恩典

内務省衛生局

昭和拾壹年三月五日印刷
昭和拾壹年三月八日發行

東京市神田區西神田一丁目九番地

印 刷 人 大 島 秀 一

印 刷 所 太 阳 印 刷 株 式 會 社
電話九段三二八六番

昭和九年度

時局匡救醫療救護實施概況

第一表 醫療救護取扱患者數及治療日數

第二表 醫療救護取扱患者年齡別

第三表 醫療救護取扱患者病類別

內務省衛生局

第一表 醫療救護取扱患者數及治療日數

	北海道		青森縣		岩手縣	
	患者數	治療日數	患者數	治療日數	患者數	治療日數
道接行縣ヒタルテ施設	委託診療	外往入來診院	—	—	—	—
	出張診療	外往來診院	—	—	—	—
	巡回診療	外往來診院	—	—	—	—
	其他	外往入來診院	—	—	—	—
	合計	外往入計	—	—	—	—
	委託診療	外往入來診院	8,238 1,097 1,959	160,680 20,235 41,032	2,900 539 790	39,892 6,825 16,442
	出張診療	外往來診院	2,463 99	16,144 2,362	1,539	17,141 —
	巡回診療	外往來診院	27,781	261,688	7,557 29	32,441 118
	其他	外往入來診院	19 37 3	345 612 45	—	—
	合計	外往入計	41,696	503,143	13,354	112,859
恩賜財行ヒタル生會施設通	委託診療	外往入來診院	8,238 1,097 1,959	160,680 20,235 41,032	2,900 539 790	39,892 6,825 16,442
	出張診療	外往來診院	2,463 99	16,144 2,362	1,539	17,141 —
	巡回診療	外往來診院	27,781	261,688	7,557 29	32,441 118
	其他	外往入來診院	19 37 3	345 612 45	—	—
	合計	外往入計	41,696	503,143	13,354	112,859
	委託診療	外往入來診院	8,238 1,097 1,959	160,680 20,235 41,032	2,900 539 790	39,892 6,825 16,442
	出張診療	外往來診院	2,463 99	16,144 2,362	1,539	17,141 —
	巡回診療	外往來診院	27,781	261,688	7,557 29	32,441 118
	其他	外往入來診院	19 37 3	345 612 45	—	—
	合計	外往入計	41,696	503,143	13,354	112,859

者數及治療日數(昭和九年度)

	宮城縣		秋田縣		山形縣		福島縣		茨城縣	
	患者數	治療日數	患者數	治療日數	患者數	治療日數	患者數	治療日數	患者數	治療日數
委託診療	—	—	10,068 819 559	156,634 11,134 9,106	—	—	—	—	1,283 213 1,170	32,082 3,938 29,110
出張診療	3,897 379	86,756 7,365	3,448 43	28,650 587	4,146 19	14,380 76	1,117 6	7,069 51	3,159 714	35,975 1,672
巡回診療	5,691 77	36,770 400	—	—	18,563 214	94,061 856	13,039 410	85,072 3,127	—	—
其他	—	—	10 192	21 927	—	—	—	—	—	—
合計	9,588 456	123,526 7,765	13,526 1,054 559	183,305 12,648 9,106	22,709 233	108,441 932	14,156 416	92,141 3,178	4,442 1,170	68,057 5,610 29,110
委託診療	10,044	131,291	15,139	205,059	22,942	109,373	14,572	95,319	6,539	102,777
出張診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
巡回診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
委託診療	—	—	1,899 401	83,820 19,045	—	—	6,021 608	85,897 544	18,675 6,196	279,447 6,196
出張診療	—	—	—	—	—	—	—	—	6,772 171	44,283 196
巡回診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	2,413 6,122	9,079 6,122
委託診療	—	—	1,899 401	83,820 19,045	—	—	6,021 608	85,897 607	25,447 12,053	323,730 12,053
出張診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23,805 25
巡回診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	206,941 178
其他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13,884
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	221,003
委託診療	—	—	1,899 401	83,820 19,045	—	—	6,021 608	85,897 607	25,447 12,053	323,730 12,053
出張診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23,805 25
巡回診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	206,941 178
其他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13,884
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	221,003
委託診療	—	—	1,899 401	83,820 19,045	—	—	6,021 608	85,897 607	25,447 12,053	323,730 12,053
出張診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23,805 25
巡回診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	206,941 178
其他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13,884
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	221,003
委託診療	—	—	1,899 401	83,820 19,045	—	—	6,021 608	85,897 607	25,447 12,053	323,730 12,053
出張診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23,805 25
巡回診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	206,941 178
其他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13,884
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	221,003
委託診療	—	—	1,899 401	83,820 19,045	—	—	6,021 608	85,897 607	25,447 12,053	323,730 12,053
出張診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23,805 25
巡回診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	206,941 178
其他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13,884
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	221,003
委託診療	—	—	1,899 401	83,820 19,045	—	—	6,021 608	85,897 607	25,447 12,053	323,730 12,053
出張診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23,805 25
巡回診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	206,941 178
其他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13,884
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	221,003
委託診療	—	—	1,899 401	83,820 19,045	—	—	6,021 608	85,897 607	25,447 12,053	323,730 12,053
出張診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23,805 25
巡回診療	—	—	—	—	—	—	—	—	—	206,941 178
其他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13,884
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	221,003
委託診療	—	—	1,899 401	83,820 19,045	—	—	6,0			

惠報取護救療醫藥第一表

	初	木 總		都 馬 總		埼 玉 總	
		患 者 數	治 療 日 數	患 者 數	治 療 日 數	患 者 數	治 療 日 數
委託診療	外往入	來 診 院	—	2,979	28,232	—	—
出張診療	外往	來 診	4,012 84	36,416 700	1,706 86	7,640 1,165	—
巡回診療	外往	來 診	7,368 155	22,174 934	27,572 78	5,461 370	—
其 他	外往入	來 診 院	—	—	159	—	—
合計	外往入	來 診 院	11,380 239	58,590 1,634	32,257 1,200 232	174,944 16,377 5,461	216,872
委託診療	外往入	來 診 院	5,320 1,414 1,133	42,809 11,493 5,859	1,167 360 89	12,873 3,125 1,776	193,235 6,661 7,597
出張診療	外往	來 診	—	—	—	—	—
巡回診療	外往	來 診	—	—	—	—	—
其 他	外往入	來 診 院	—	—	—	—	—
合計	外往入	來 診 院	10,891 7,867	42,809 59,661	1,167 1,616	12,873 17,774	193,235 207,493
委託診療	外往入	來 診 院	5,320 1,414 1,133	42,809 11,493 5,859	4,146 1,237 371	12,873 3,125 1,776	193,235 6,661 7,597
出張診療	外往	來 診	4,012 84	36,416 700	1,706 86	18,519 1,165	216,872
總計	外往	來 診	7,368 155	22,174 934	27,572 78	128,193 370	216,872
其 他	外往入	來 診 院	—	—	159	—	—
合計	外往入	來 診 院	16,700 1,653 1,133	100,899 18,127. 5,859	38,424 1,560 371	187,817 19,502 7,237	410,107 6,661 7,597
合計	外往入	來 診 院	19,486	119,885	35,355	214,556	424,365

者數及治療日數 (昭和九年度) (續)

第一表 醫療救護取扱患
者數及治療日數 (昭和九年度) (續)

者數及治療日數 (昭和九年度) (續)

第一表 醫療救護取扱患

者數及治療日數 (昭和九年度) (續)